

令和 4 年度臨時総会 議案書

日時:令和4年9月26日(月)

せたがや生涯現役ネットワーク

次 第

(1) 議案審議

第1号議案 令和5年度補助事業計画と補助金予算要望について……p.1

(2) 報告

第1号報告 令和4年度シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

中間報告について……p.11

第2号報告 令和4年度イベント「生涯現役フェア」について……p.12

第3号報告 令和4年度シニア Zoom サロン 中間報告について……p.13

第4号報告 令和4年度プロジェクト(一般会計)中間報告について……p.14

第5号報告 会員の退会について……p.15

第1号議案 令和5年度補助事業計画と補助金予算要望について

令和5年度は下表の4つの補助事業を行う。

No.	事業名称	備考
1	イベント「生涯現役フェア」	継続事業
2	シニアの社会参加あとしプロジェクト	R2～R4 年度「シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト」の後継事業
3	シニア Zoom サロン	R4 年度から始まった事業を継続
4	ネットワーク再活性化事業	加盟団体数減少傾向、コロナ禍による団体活動の停滞、高齢化などネットワークの現状に鑑み、ガイドブック制作、新規加盟団体獲得活動、加盟団体活動援助等を新規補助事業として行う。

実施体制について、現状と来年度とを比較して下図に示す。

各事業の詳細は次ページ以降に記載

【現状】

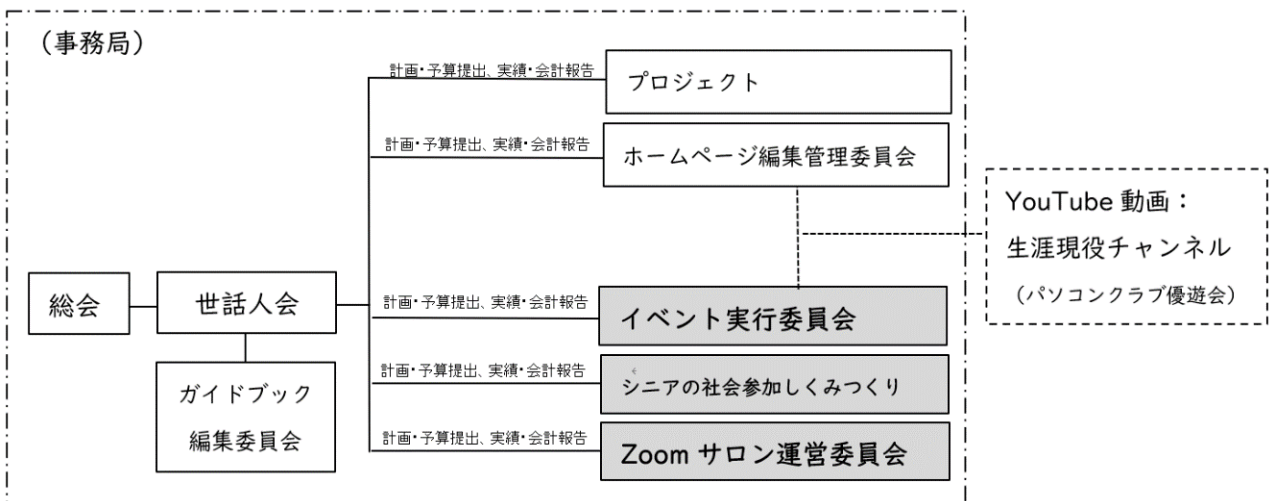


図1. せたがや生涯現役ネットワーク組織図(着色部は区の補助事業)

【来年度】

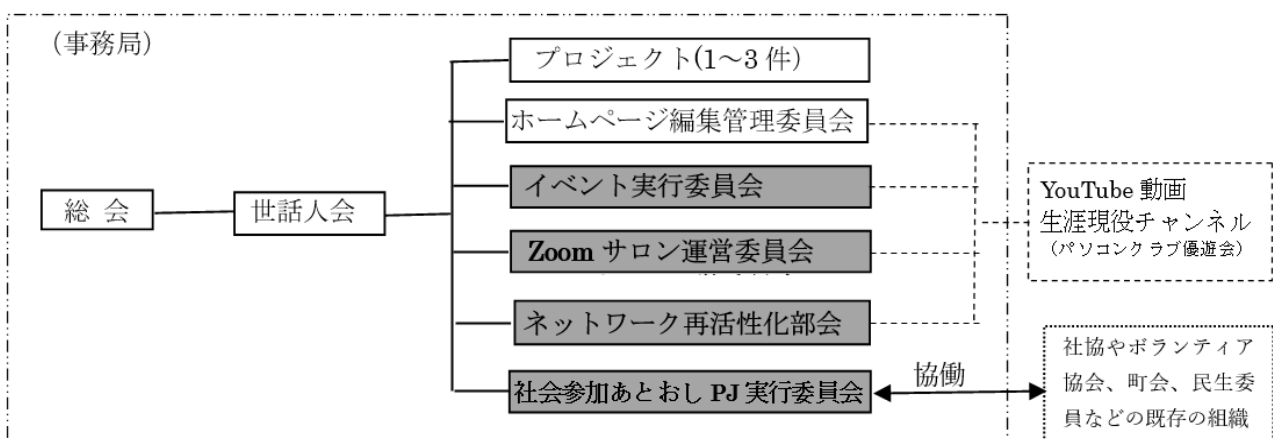


図1A. せたがや生涯現役ネットワーク組織図 (着色部は補助事業)

・特別会計(1)イベント「生涯現役フェア」

例年2月に開催していた「生涯現役フェア」は集客数・宣伝効果が大きいことから、これを10月に開催するように変更し、その後開催される「シニアの社会参加あとしプロジェクト」の各種行事のPRを行い、より多くの参加者を迎えて、各団体への新規入会者がより多くなるようにする。

補助事業の名称	第17回生涯現役フェア
補助事業のねらい	「せたがや生涯現役ネットワーク」は、設立目的の一つとして、中高年世代に対する地域活動を取り入れたライフスタイルの提案や、中高年世代の地域活動への参加促進と活動機会の拡大を図るため、地域の活動団体、区民、企業及び教育機関等に対し、生涯現役の推進のための理解の促進・啓発に関する情報交換及び交流の場を提供することをうたっている。本イベントを開催することで、参加者の地域活動のきっかけとなることをねらいとする。
補助事業の実施内容	毎年フェアのサブテーマを定め、生涯現役を実践している著名人によるサブテーマに沿った講演会を開催するとともに、本ネットワーク加盟団体による舞台発表や展示(団体紹介・エキシビジョン・体験コーナー・物販・景品)及び団体間交流を行う。 来場者への直接対話の他に、ライブ配信と見逃し配信をYouTube動画にて行う。(来場+リモートのハイブリッド開催)
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施期間	令和5年10月下旬頃
補助事業の実施場所	調整中
予定参加人数等	180名
補助事業の実施方法	4月 実行委員募集、講演者検討 5月 イベント出展団体及び当日スタッフの募集 6月 ポスター・チラシデザイン、当日スケジュールの検討 8月 来場者募集開始 9月 最終確認、イベント出展団体及び当日スタッフへの説明 10月 イベント実施 11月 実施報告書の提出/事後チラシ配布
実施体制	ネットワーク内に公募した実行委員とパソコンクラブやすまほ研を主体としたIT班10名(動画配信担当)と各団体からの当日スタッフによる。
補助事業の期待できる成果	生涯現役社会づくりを目指す「せたがや生涯現役ネットワーク」の存在と役割を広く区民に周知すると同時に、各加盟団体のPRを図り、社会的活動、特にボランティア活動で社会を支えてくれる多くの人材を獲得できる。 フェアに集まった観客へ「シニアの社会参加あとしプロジェクト」の各種行事のPRを積極的に行い、その参加者の増加と加盟団体への入会者が増えることが期待できる。

【年間スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実行委員募集	実行委員会 講演者検討 講演者決定 企画内容確定 ・来場者募集開始 プログラム・チラシデザイン検討 チラシ印刷 ・出展者説明会					イベント実施	実施報告書提出
	出展団体募集			出展団体の出展準備			

予 算

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	430,000	支出合計額－講演会参加費
講演会参加費	75,000	500円*150名
合計	505,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1)事業経費		
出演料(★)	220,000	来客時割増(30,000円★)含む
イベント保険料	10,000	400名*25円
チラシデザイン費	20,000	募集用チラシ、事後チラシの2種類
チラシ印刷費(★)	20,000	募集用(10,000円)事後(5,000円)、スタンプラリー用(5,000円★)
実行委員・当日交通費及び弁当代	45,000	当日交通費 500円*45人 弁当代 500円*45人
IT班事前準備会議・準備作業(★)	60,000	1,000円×(4回+2回★)×10人
IT機材レンタル代	50,000	動画配信用機材
会場装飾費用(来場者アリの場合)★	20,000	ブース団体名等印刷代、演台用生花など
参加者受付業務	10,000	受付確認メール送信および電話受付、リマインダーメール2回送信
実行委員会交通費	25,000	500円*5回*10人
小計(ア)	480,000	
2)共通経費		
消耗品費	6,000	マスク、消毒液、名札、腕章など(出来るだけ前年度のものを流用)
通信費	10,000	
管理費	9,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	25,000	
合計	505,000	

注:無観客の場合は、★印の費用発生がなくなり、参加費収入が無くなった分とバランスする。

・特別会計(2)シニアの社会参加あとしプロジェクト

補助事業の名称	シニアの社会参加あとしプロジェクト
補助事業のねらい	令和2～4年度の「シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト」を通じて効果的な次期企画案がまとめられる予定。 既存組織や制度の活用と地域活動団体のネットワーク強化に取り組みつつ策定してきた「シニアの社会参加のしくみ」を適用した活動で、より多くのシニア世代の社会参加が実現することを目指す。
補助事業の実施内容	健康保持、芸術・趣味、ボランティアなど様々なテーマの勉強会・講習会で仲間作りを進めるとともに、社会活動参加の意義を学習しシニア世代の社会参加に向けた意識を高める。 5地域でまち歩きを含めた地域イベントと地域活動紹介イベント開催 シニア世代の地域活動体験の希望者を募集し、ネットワークの各団体及びボランティア協会や社協の関係団体の活動紹介し、活動体験するプログラムを実施する。(修了後に体験した中の地域活動団体に入会する率が高い)
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	区内各所、ひだまり友遊会館(体験講座)
予定参加人数	延べ200名前後
補助事業の実施期間	令和6年3月までの単年度事業(3か年計画に基づく継続事業の予定)
補助事業の実施方法	委員募集6月、実行委員会7月～3月、イベント実施11月～3月 年間スケジュールは別表のとおり。
補助事業の実施体制	生涯現役ネットワークの各団体に公募した実行委員会と世田谷ボランティア協会と世田谷区社会福祉協議会に推薦を依頼し、協業する
補助事業の期待できる効果	参加者の中から生涯現役ネットワーク各団体への入会者が現れる。 生涯現役ネットワーク参加団体が、イベント開催や「地域活動体験」での講師やスタッフを担当し、体験入会者受け入れなどを通じて、活動の意味を再確認し、また活動自体を広める機会とできる。 講座参加者の交流イベントに地域活動団体も参加することで、シニアの社会参加の受け皿となる生涯現役ネットワーク加盟団体同士の活動を知り合い、お互いに顔の見える関係を作って、それぞれの活動を協力し合うきっかけとできる。

【年間予定表】

PR力のある生涯現役フェアを10月に実施して、11月から開催する本PJのイベントへの集客を意識的に行い、補助事業全体の効率を高める。

【令和5年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員募集			●									
実行委員会				●	●	●	●	●	●	●	●	●
広報						---	---	---	●	---	●	
イベント								●●●	●●	●	●	
アンケート								---	●	---	●	
次年度計画・実績報告					●							●

【評価尺度(メトリック)と目標値】

① プロセス系

- a. イベント参加者数 目標値: イベント定員数の 80%以上(本来の募集対象者)
- b. 参加者の満足度 目標値: アンケート回収率 70%以上の条件で、
◎+○:70%以上(△:ノーカウント)かつ ×:10%以下

② 結果系

- c. 体験講座(準)皆勤参加者数 目標値: 年間 5 名以上
- d. 地域活動団体への入会者数 目標値: 年間 3 名以上

【3 か年各年度の事業計画方法】

- 第 1 年度: しくみづくり PJ 報告書の企画実施、結果評価と新アイデアを含む次年度計画立案
- 第 2 年度: 第 1 年度報告書企画の実施、結果評価と新アイデアを含む次年度計画立案
- 第 3 年度: 第 2 年度報告書企画の実施、3 か年の総括と後継 PJ の計画立案

予 算

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	403,500	支出合計額
合計	403,500	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
会議費(交通費)	100,000	500 円 × 20 人 × 10 回
会議室借用料	20,000	2,000 円 × 10 回
チラシデザイン費	35,000	街歩き・勉強会の地域版5、全体版1、「体験講座」全体版1 合計7種類 5,000 円 × 7種類
チラシ印刷費*	31,500	4,500 円(2,000 部) × 7
勉強会・交流会講師謝礼	40,000	10,000 円 × 4 回
街歩き講師謝礼	25,000	5,000 円 × 5 人
街歩き・体験講座謝礼(外部スタッフ)	30,000	2,000 円 × 15 人
街歩き・体験講座謝礼(実行委員)	40,000	2,000 円 × 20 人
街歩き実施調査費	50,000	スタッフ謝礼: 2,000 円 × 2 人 × 5 地域 交通費: 6,000 円 × 5 地域
街歩きアンケートデータ整理作業	10,000	100 名分 10 時間
小計(ア)	381,500	
2) 共通経費		
文具事務用品・消耗品費	5,000	
通信費	10,000	
管理費	7,000	会計業務(事業経費の2%, 千円未満切り捨て)
小計(イ)	22,000	
合計	403,500	

特別会計(3)シニア Zoom サロン

補助事業の名称	シニア Zoom サロン
補助事業のねらい	地域デビューをしたい方に対して Zoom で相談に乗り、相談者のニーズに沿ったネットワーク加盟団体を紹介・地域活動に役立つ行政機関の紹介や情報提供を行い、シニアの地域活動参加を促す。 コロナ禍の巣ごもりの弊害を少しでも解消すべく、Zoom サロンを情報交換の場・人と触れ合う場という「地域活動」と見なして常連参加者を増やして活発な活動にする。(Zoom サロンに出るだけでも地域デビュー)
補助事業の実施内容	Zoom サロン 12 回:10:30~11:30 毎回ネットワーク加盟の一団体が活動紹介 20 分、参加者が自己紹介と質疑、MC が楽しい会話の場に盛り上げる。毎月の講演者動画を YouTube 動画にアップして活用。 サロン準備・反省:Zoom サロン前後に運営委員が準備と反省会。 運営委員会 4 回:対面サロン企画、チラシ検討、アンケート集計分析。 対面サロン 1 回:区内施設会議室で 12 月ころ開催(ゲストスピーチ)。
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施場所	リモート(Zoom)、区内施設
予定参加人数	延べ 180 名前後
補助事業の実施期間	令和 6 年 3 月までの単年度事業(ただし、次年度も継続できるように目標を持って活動して成果を上げ、予算申請する予定)
補助事業の実施方法	チラシ、区報、HP、口コミ、メール他にて集客を図り、サロン参加者数を確保し、リピート率も高くなるように内容を充実させて、Zoom によるリモート会議機能でサロンを開催する。下の年間予定表参照。
補助事業の実施体制	ネットワーク内に公募を行って組織した Zoom サロン運営委員会(表 1 =現状)について、基本的に変更なきものとするが、適宜メンバーの増減・交代も考慮する。(ひだまり文化研究会?)
補助事業の期待できる効果	Zoom で気軽に相談でき、退職後の地域回帰を図る方の助けとなる。 地域活動の経験豊富なスタッフが運営委員になっているので、相談者の悩みに向き合え、場合により個別の相談にのる事もできる。 相談者は、在宅のまま相談でき、外出自粛中も安心して利用できる。

【年間予定表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サロン	● 15(土)	● 17(水)	● 17(土)	● 19(水)	● 19(土)	● 20(水)	● 21(土)	● 15(水)	● 16(土)	● 17(水)	● 17(土)	● 20(水)
委員会他	● 運営委員会	●	● 運営委員会	●	● 運営委員会	●	●	● 対面サロン	●	● 運営委員会	●	●
チラシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アンケート (都度メール)	●	●	●	●	●	● 集計分析	●	●	●	●	● 集計分析	●
計画・報告					● 次年度計画補助金申請							● 決算報告

表1. Zoom サロン運営委員会メンバーと役割

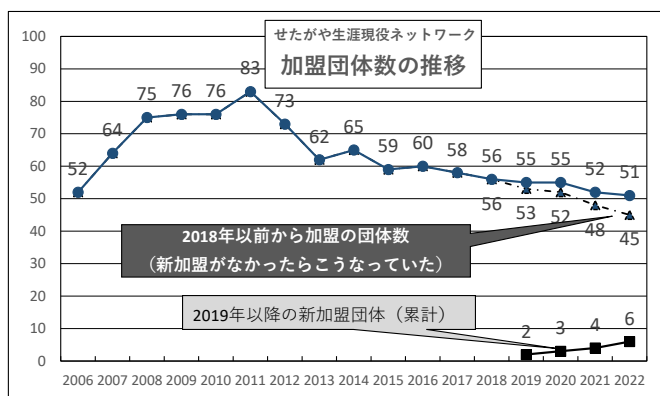
氏名	所属団体	役割(案)
真貝 高三	せたがやすまほ研究会	委員長、MC
臼井 達郎	世田谷地域デビューの会	渉外担当
岡崎 宏	せたがや生涯現役ドットネット	広報、参加受付・メール配信
佐伯 京子	世田谷ウォーキングフォーラム	MC
大西 真由美	世田谷地域デビューの会	MC
小畑 崇	世田谷ウォーキングフォーラム	記録担当
中島 有二	パソコンクラブ優遊会	Zoom 技術指導担当
河上 勇	世田谷砂場クラブ	企画担当、参加受付・メール配信
熊井 誠	世田谷区健康体操連盟	企画担当、広報
今村 眞展	世田谷地域デビューの会	会計

予算

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	310,600	
合計	310,600	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
サロン相談員/MC 謝礼	108,000	(1,000 円 × 7 人 + 2,000) × 12 回
会議費(交通費)	25,000	500 円 × 10 人 × 5 回
参加受付・リマインダー・アンケート・データ管理業務	39,000	1,000 円 × 13 回 × 3 人
講師謝礼	57,400	3,000 円 × 10 団体 + 特別講師(大学教授級 13,700 円/1時間 × 2回)
会議室利用料	3,000	500 円 × 4 回 1,000 円 × 1 回
団体紹介部分の動画制作費	36,000	3,000 円 × 12 回
対面サロンスピーチ謝礼	3,000	3,000 円 × 1 人
チラシデザイン、印刷費	24,000	
小計(ア)	295,400	
2) 共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	5,200	ガイドブック郵送(140 円 × 30 回 + 250 円 × 4 回)
管理費	5,000	会計業務(事業経費の2%、千円未満切り捨て)
小計(イ)	15,200	
合計	310,600	

特別会計(4)ネットワーク再活性化事業

せたがや生涯現役ネットワークは、2014 年以降加盟団体数が減少する一方であり、この現状を改善するために、脱退団体の発生を最小限に食い止めたための活動(=ネットワークに加盟していることが有意義で魅力的となるようイベントや広報物の充実、各団体が活発な活動を継続できるような中年層の会員獲得への手助けをする)並びに新規加盟団体獲得への計画的で組織的な活動を行う。



補助事業の名称	ネットワーク再活性化事業
補助事業のねらい	ネットワーク加盟団体個々の活動を活発化させる対策を施して、活動休止や解散によるネットワーク脱退を回避する。 加盟団体数を増やす、あるいは一定以上に保つための活動を能動的、積極的に計画し実施して、ネットワークの活動をより有意義にする。
補助事業の実施内容	ガイドブック制作、ネットワーク広報活動の増強、各団体の紹介用YouTube 動画制作、各団体ホームページ改善、計画的な新規加盟団体勧誘の為の具体的な活動計画を策定して実施。
補助事業の対象	区内在住の中高年、区内の地域活動団体
補助事業の実施場所	区内施設、ひだまり友遊会館、梅丘分庁舎
新加盟団体数の目標	新規加盟団体数 3 団体以上
補助事業の実施期間	令和 5 年 4 月～6 年 3 月までの単年度事業、ただし、令和 4 年 10 月より世話人会と有志による準備会(一般会計)にて、一部先行実施。
補助事業の実施方法	(1)各団体活性化:ネットワーク内へアンケートにて個々の団体の要望を調査し、可能な範囲で改善策などを実施して対応する。 (2)計画的勧誘:再活性化部会にて加盟が望ましいと考えられる地域活動団体や企業等をリストアップし、メールや手紙で勧誘し、必要に応じて面談もおこなう。社会福祉協議会が実施しているサロン活動等の中でネットワークへの加盟の可能性を具体的に検討する。
補助事業の実施体制	ネットワーク内に公募し、意識が高く行動力のある人材で「ネットワーク再活性化部会」を組織して活動する。
補助事業の期待できる効果	各団体の状況を聞いて対応する事で、コロナ禍での活動停止や入会者激減による活動衰退・解散を回避することに寄与できる。 区内の企業訪問時、社員退職時手渡し書類にネットワークガイドブックを含めてもらうよう依頼。退職者等が地域活動を始めやすくなる。 新規加盟団体を多く迎えることで、ネットワークが活性化する。

【年間予定表】

【令和5年度】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部員募集	●											
再活性化部会		●	●	●	●		●		●		●	●
ガイドブック チラシ・ポスター、他		●		●			●			●		
団体紹介動画					●		●			●		
要望調査 個別対応			●									●
団体・企業新 規加盟の勧誘			リスト 化	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	発送	訪問	●
次年度計画・ 実績報告					●							●

予算

【収入】		
費目	金額(円)	積算内訳
区補助金	328,000	
合計	328,000	
【支出】		
費目	金額(円)	積算内訳
1) 事業経費		
ガイドブック制作費	101,000	91,000円(3,000部)デザイン料10,000円
チラシ・ポスター制作費	38,000	4,500円(2,000部)×2回、8,500円(12部)×2回、デザイン料3,000円×4回
調査・計画策定作業費	20,000	勧誘団体・企業、団体要望とりまとめ
再活性化部会交通費	64,000	1,000円×8人×8回
会議室利用料	4,000	作業会500円×8回
紹介動画制作費(10団体)	50,000	YouTubeにup、広報活動支援する
団体・企業訪問	30,000	1,500円×2人×10回
小計(ア)	307,000	
2) 共通経費		
文具事務用品・コピー代他	5,000	
郵便代	10,000	
管理費	6,000	会計業務(事業経費の2%)
小計(イ)	21,000	
合計	328,000	

収支まとめ

収入		R4 予算額	R5 予算額	差額
特別 予算	(1) イベント(生涯現役フェア)			
	区補助金	470,000	430,000	▲40,000
	講演会入場料	50,000	75,000	25,000
	小計	520,000	505,000	▲15,000
	(2) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト			
	区補助金	780,000	0	▲780,000
	寄付(関係者からの寄付)	30,000	0	▲30,000
	小計	810,000	0	▲810,000
	(2') シニアの社会参加あとしプロジェクト	0	0	0
	区補助金	0	403,500	403,500
	小計	0	403,500	403,500
	(3) シニア Zoom サロン			
	区補助金	247,900	310,600	62,700
	小計	247,900	310,600	62,700
	(4) ネットワーク再活性化事業			
	区補助金	0	328,000	328,000
小計	0	328,000	328,000	
区補助金計	1,497,900	1,472,100	▲25,800	
計	1,577,900	1,547,100	▲30,800	

支出		R4 予算額	R5 予算額	差額
特別 予算	(1) イベント(生涯現役フェア)			
	1) 事業経費	485,000	480,000	▲5,000
	2) 共通経費	35,000	25,000	▲10,000
	小計	520,000	505,000	▲15,000
	(2) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト			
	1) 事業経費	610,000	0	▲610,000
	2) 共通経費	200,000	0	▲200,000
	小計	810,000	0	▲810,000
	(2') シニアの社会参加あとしプロジェクト			
	1) 事業経費	0	381,500	381,500
	2) 共通経費	0	22,000	22,000
	小計	0	403,500	403,500
	(3) シニア Zoom サロン			
	1) 事業経費	211,500	295,400	83,900
	2) 共通経費	36,400	15,200	▲21,200
	小計	247,900	310,600	62,700
	(4) ネットワーク再活性化事業			
	1) 事業経費	0	307,000	307,000
	2) 共通経費	0	21,000	21,000
	小計	0	328,000	328,000
計	1,577,900	1,547,100	▲30,800	

第1号報告 令和4年度シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト中間報告について

(1)「生涯現役をめざすあなたへ ～あとおしイベント」を企画し参加者募集中(一部実施済み)
ネットワーク各団体におかれましては、別途配布のチラシにて集客へご協力ください。

地域	開催日時・集合場所	内容
北沢	9月10日 ・守山地区会館	「ポッチャを学び、ポッチャを体験しよう」
玉川	9月10日 ・九品仏複合施設活動フロア	シニア仲間づくり企画 「ピクトグラムを学び、防災知識を深めよう」
玉川	10月1日 ・九品仏地区会館大会議室	音楽を通しての仲間作り 「美しいハーブの調べ～演奏とトーク」
世田谷	10月7日 ・しゃれなあと5階	キャッシュレス時代のシニアの社会参加 ・せたがやPAYとスマホの活用
砧	10月8日 ・祖師谷区民集会所地階	これからもずっと元気に過ごすための講座 ～社会参加でずっと元気に～
北沢	10月12日 ・ひだまり友遊会館	退職後を元気に過ごすための講座 ～男性の地域参加のすすめ～
烏山	10月29日・千歳温水プール集会室	初めてのノルディックウォーキング体験会
砧	10月22日・喜多見駅南口	喜多見のまち歩きを通じた仲間づくり
全体	11月5日・ひだまり友遊会館	地域活動体験講座 初回オリエンテーション
烏山	11月26日・寺町通り区民集会所	寺町を通して烏山地域の魅力を知ろう、語ろう
北沢	12月2日・松原まちづくりセンター	市民緑地の魅力を学び楽しんで仲間づくり (松原1丁目日章館亀井邸)
玉川	11月26日・九品仏複合施設	「玉川地域の古刹を巡る仲間づくり」
世田谷	1月(調整中)うめとぴあ	「(仮)認知症でも安心して暮らせる世田谷」
烏山	2月21日・烏山区民センター	体験してみよう『傾聴ボランティア』って？
全体	3月4日・がやがや館	全体交流

(2)地域活動体験講座を企画し、受講生受け入れ団体募集中

日程	内容
8月日～9月日	受講生受け入れ団体の募集
10月15日～10月末頃	体験講座参加者(受講生)の募集
11月5日(土)	体験講座参加者(受講生)への説明
11月12日(土)	受け入れ団体からのプレゼン及び受講生との面接
11月～1月	受け入れ団体での活動体験(体験希望者と団体が直接連絡取り合う)
2月4日	受講生による活動体験の発表会

第2号報告 令和4年度イベント「生涯現役フェア」について

開催予定日:令和5年3月11日(土)

場所:烏山ホール: ホール(午後と夜間を予約)とホールロビー(+屋外広場?)

実行委員

役割	氏名	団体名
リーダー	河上 勇	世田谷砂場クラブ
サブリーダー	中島 有二	パソコンクラブ優遊会
会計	今村 眞展	地域デビューの会
	兜山 好直	世田谷健康体操連盟
	長谷川 宏	生きがい世田谷の会
	秋山 宜興	ひだまり文化研究会
	臼井 達郎	地域デビューの会
	横地 彦太郎	世田谷区誌研究会
	盛田 佐保子	劇団・せたがや創作紙芝居
	清志水 凡从	【ご当地】家族会

第1回実行委員会(8月8日):役割、開催形態と内容の概略・講演者候補について話し合い。

第2回実行委員会(9月8日):「キャッチフレーズ/イベント名」は、昨年度からの連続性を考慮し

「世田谷を舞台とする地域活動団体の祭典/第16回生涯現役フェア」とし、サブテーマは無しにした。招待講演の講師候補を複数挙げ、交渉順を決定。

第3号報告 令和4年度シニア Zoom サロン 中間報告について

色々工夫して集客を行っている。サロンの内容について参加者から高評価を頂いており、目標値達成へ向けて、下の図表にて毎月データを速報して実行委員内で情報共有している。

シニアZoomサロン参加者数実績（講師は来客に含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	対面	12月	1月	2月	3月
新規参加者	5	8	9	5	5								
リピーター	6	4	7	9	13								
運営委員	9	7	7	8	10								
来客合計	11	12	16	14	18								
出席者合計	20	19	23	22	28								

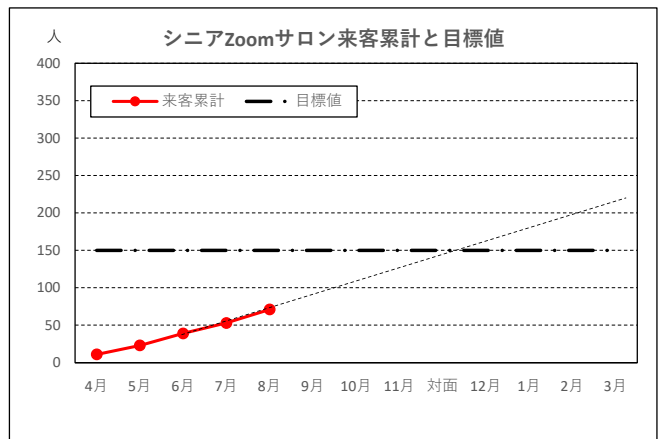
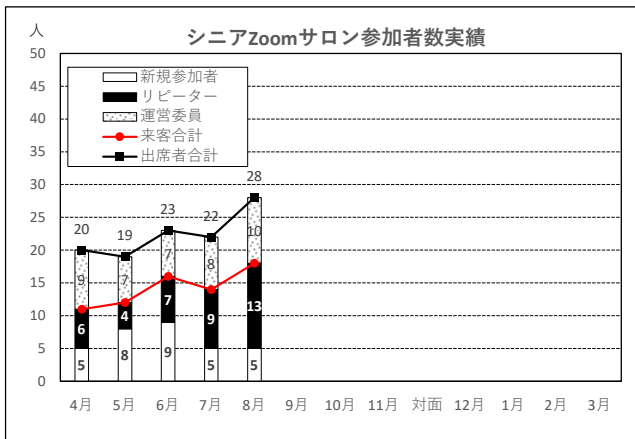
リピーター数にも注目、「毎回楽しみに参加くださる常連さん」が多い事を大切にしたい。これに参加すること自体が地域活動の一つになるようにした

第1メトリック（目標値：年間累計来客者数150人以上）

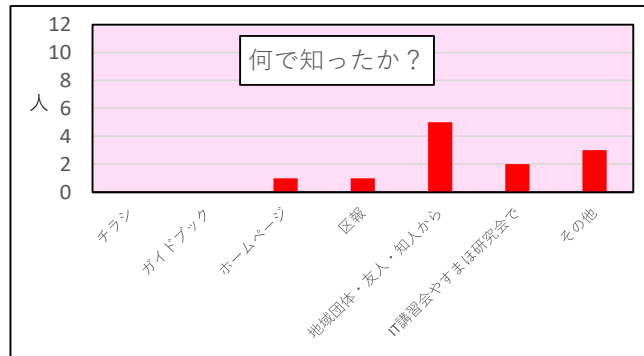
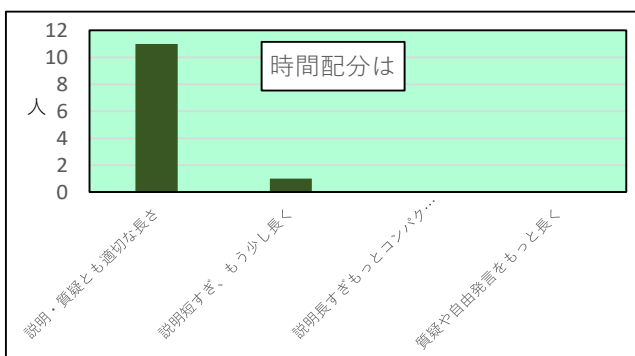
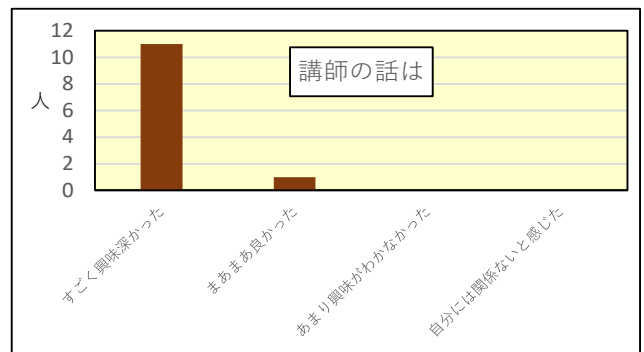
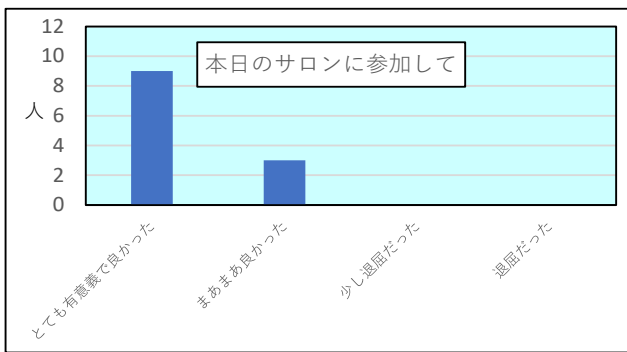
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	対面	12月	1月	2月	3月
来客累計	11	23	39	53	71								

第2メトリック（目標値：地域活動団体への入会者数1名以上、団体体験参加者数5名以上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	対面	12月	1月	2月	3月
入会者	0	0	0	0	0								
団体体験	0	0	0	1	0								



8月サロン直後のアンケート（17人中12人回答：回答率=71%）



第4号報告 令和4年度プロジェクト(一般会計)中間報告について

番号	プロジェクト名	団体名(略称)
1	世田谷ゆかりの生涯現役電車と旅館を訪ねる会(第2回)	世田谷風景じゆく 世田谷砂場クラブ
2	Seta IT Team による広報活動支援プロジェクト	パソコンクラブ優遊会 せたがやすまほ研究会
3	紙芝居で知る世田谷の歴史	劇団・せたがや創作紙芝居

第5号報告 会員退会について

番号	団体名
1	NPOアクティブ・シニア・クラブ世田谷支部

令和4年8月19日現在、51団体加入